

アイリスLetter



2016年11月30日発行
第7号
広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

11月3日の文化祭では、生徒たちの活動を中心に、PTAの皆様によるバザーやお父様方による出店・警備、そして準備や後片付けに至るまで、多くの保護者の皆様が積極的に関わって盛り上げていただき、生徒・保護者・教職員一体となってこの行事を成功させることができましたことを、教職員共々大変うれしく思っております。ありがとうございました。

さて今年も12月を迎えます。キリスト教会の暦では12月25日のイエス・キリスト降誕日がある週の日曜日からを「降誕節」と呼びますが、その前4週間をアドヴェント(待降節)と呼んで、この日を迎える準備の期間としています。一般にこの期間、クリスマスの装飾、カードの交換がされますが、本校でも中学礼拝委員、高校宗教委員、生徒会、YWCAの生徒たちが、クリスマスツリー、教室のリース、馬小屋の木彫りの人形を飾り、ホールの壁と高校校舎グラウンドのヒマラヤ杉には職員によって電飾が施されました。この時期各地のキリスト教学校を訪ねますと、それぞれの学校でも独自のクリスマス装飾が施されていますが、いずれも美しいながら落ち着いた静けさを感じられます。クリスマス装飾の特徴である、光、赤と緑のカラーには其々、意味が込められています。夜の闇を、人々や世界の抱える問題や苦悩の象徴と考え、そこに救い主として来られたイエス・キリストを希望の光として表しています。またイエスは人の罪と苦しみを自らの上に負って十字架につけられましたが、終などげの付いた植物の緑は頭にのせられたいばらの冠を、また、赤は十字架上で流された血を表しています。こうして見てみるとこれらクリスマスの象徴には、人々が浮かれ騒ぐような内容は何一つないことが分かります。それでもクリスマスを喜びの季節と考えるのは、神が私たちのために最も大切なひとり子イエスを、プレゼントとして私たちに与えてくださったという意味に依っています。お互いに贈り物をするのも、上から与えられた恵みと喜びをお互いに分かち合う意味があるでしょうし、また助けを必要とする人々に普段以上に心を注ぐ時でもあると思います。校内では、キリスト教強調週間を経て高1のHRを中心に「ミヤンマーの子どもたちの為の夏服・楽器収集」、「釜ヶ崎の労働者の為の施設ふるさとの家の為の日用品収集」、「ペットの命のあり方に真剣に取り組んでいるNPO法人SPICAへのタオル・シーツ・毛布の収集」が行われています。また、学期末に生徒たちは全国の施設などのためのクリスマス献金を行い、その他にも12月3日の卒業生によるチャリティーコンサート(18時開演 於:ゲンスホール)や23日のメサイア演奏会でも募金や献金が行われます。クリスマスを迎えるにあたって、皆様の関心を向けて頂けましたら幸いです。

急に寒くなってまいりましたが、お体を大切にお過ごしください。

聖書の言葉

★ 「主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。

それは、主の貧しさによってあなたがたが豊かになるためだったのです。」

新約聖書コリントの信徒への手紙Ⅱ 8章9節
(校長)

2016年度 中高文化祭

お天気にも恵まれ、2,600人余りのお客様にご来場いただきました。

礼拝をともにし、吹奏楽部によるファンファーレで幕開けした文化祭は、クラブ、委員会、HR、いずれの発表も130年という長い女学院の歴史の中に、新たな文化の香り漂う1日となりました。今年度のテーマ「百花“諒”乱」は、一人ひとりが個性を出しお互いを思いやろうという願いがあります。この日は、生徒の皆さんのそれぞれの花を学校中で見かけることが出来ました。ホールでは日々の練習の成果、グラウンドでは美味しそうな匂い、体育館では白熱した試合や華麗な演技、校舎内ではたくさんの素晴らしい作品の数々など、日常とは違う生徒の皆さんの様々な表情と働きにとともに心を動かされました。また、PTAの皆さんや同窓会の方々にも文化祭を盛り上げていただきました。準備から最後の片付けまでご協力いただいた保護者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

生徒会では毎年必ず、文化祭の内容を少しずつ変えてきています。新しいものにチャレンジすることは、大きなエネルギーを必要としますが、更にパワーアップした文化祭を行えるように、女学院生が丸一となって創り上げていきたいと思っています。



(生徒会顧問)

PTAバザー報告

文化祭PTAバザーは、好天に恵まれ多くの来場者を迎え盛況のうちに無事終えることができました。11月3日の開催となり準備への心配もありましたが、多くのご協力をいただきありがとうございました。余剰品の提出や各地区会のご協力、また当日のお手伝いなど心より感謝申し上げます。昨年に引き続き中学生がお手伝いに参加し、今年は飲食教室の装飾も担当して会場を盛り上げてくれました。各売り場で役員が知恵を出し合いより魅力的で楽しんで貰えるバザーを目指しました。最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様方にはお忙しい中ご尽力いただき支えていただきました。役員一同深く感謝いたしますとともに心よりお礼申し上げます。



(PTAバザー担当副会長)

キリスト教強調週間 (11/14~19)

主題「あるがままのいのち」、主題聖句「自分の命のことで何を食おうか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。」(マタイによる福音書 6章 25節)、主題講演講師に在宅ホスピス医師・川越厚先生をお迎えして実施されました。

川越先生は、末期がん患者の「人生の最期は自宅で」という願いを支える医療活動を行っており、NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』でも紹介されています。広島学院高校から東大医学部に進学、東大病院の婦人科医師として医療の最先端で働いておられましたが、39歳の時、ご自身がガンになり、今のお仕事と出会いました。

講演では、祖母を亡くした中3の女の子の文章を紹介しながら、人間がいつかは避けることのできない死を前にした時、「今のあるがままを受け入れ、変わっていくあるがままも受け入れる」ことが必要だと語られました。また、私たち人間にはあるがままを受け入れ



ることは難しいけれど、自分だけの力ですべて解決しようとするのではなく、私たちの命を創り支えて下さ

る神様に信頼し、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く」（ローマの信徒への手紙 12章 15 節）という聖句のように苦しんでいる人に寄り添ってほしいと話されました。

学年別活動では、「隣人と共に生きる」ことについて、社会のさまざまな分野の講師の先生との出会いや具体的実践活動を通して考える時間を持ちました。



週間中の昼休み、中学では、礼拝委員会が『プロフェッショナル仕事の流儀・女学院篇』を作成、校長先生をはじめ先生方が仕事の上で大切にしている思いについて紹介、また人生における“カナシミ”の役割について考える映画『インサイド・ヘッド』を上映しました。

高校では、「昼の集い」で宗教委員会による様々な企画が実施されました。ダウン症のお嬢さんと暮らす藤山節子さんのお話を伺ったり、マリールイズさんとルワンダで活動をされた姫野敬子さん（卒業生）の報告会、模擬国連や首都大学アーカイブ研修に参加した生徒たちの報告会などです。どの会も「隣人とは誰か」「隣人と生きる」ということを主題に据えた発表で、キリスト教強調週間にふさわしいものでした。お話をしてくださった皆さんに感謝します。

19日(土)の閉会礼拝では、各学年の生徒代表が感想を発表し、それぞれが学んだことを分かち合いました。詳細は学院報や年度末に小冊子『ガリラヤの風』にてご報告します。

(宗教教育委員会)

保健室だより (7)

～ネットと健康について、

なぜやインフルエンザの予防について～

ベネッセ教育総合研究所「第2回放課後の生活時間調査報告書」によると、中高生のスマホ・ヘビーユーザーの特徴で、特に健康に関わる項目は下記のとおりです。

- ・朝食をとらない者がやや多い。
- ・昼寝をする者が多い。
- ・規則正しい生活をしていないと回答する者が多い。
- ・いらいらする、やる気が起きない、何となくさびしい、気分が落ち込む、自分に自信がもてない、食欲がないと回答する者が多い。

このように、利用時間や利用状況によって多くの課題があります。今一度、自分の生活の時間の使い方をチェックし、健康が脅かされないような使い方を学んでいきたいものです。

また、なぜやインフルエンザなどがはやる季節となりました。しんどい時は、無理して登校せずに、ちょっとした勇気をもって早めに休む、うがい、手洗い、食事、休息、睡眠、マスクの着用、部屋の換気、予防接種など小さな習慣を大切にしましょう。

(保健室)

心の健康 (7)

12月は1年の終わりの月です。学校では、これから期末テストがあり、生徒たちも先生も忙しく過ごします。家庭でも今年のまとめの用事がたくさん残っていて、とても忙しい雰囲気になり、ストレスフルになります。12月は忙しさからくるストレスの解消に特に

心がけましょう。

暮らしを見直し、生活のリズムをつくる体内時計を整えましょう。睡眠時間を確保することも大切です。忙しいからと徹夜や夜更かしを続けると、生活のリズムが崩れます。睡眠には、体だけでなく心を休める効果があり



ます。眠っている間に、脳も含めて体が休息状態になります。体を休めることで、心の疲労も軽くなります。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学バレーボール部

* 広島市中学校新人バレーボール大会(中区)
第2位 ⇒広島市新人戦出場決定

◇中学新体操部

* 広島市中学校新人新体操大会
団体: Aチーム 優勝
Bチーム 2位

◇個人の活躍

* 第93回宮島写生大会
K・M(2-5) 銀賞
* 第56回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト
N・A(3-1) 金賞
* 日本珠算連盟広島支部主催
2016年そろばんチャンピオンシップ広島
個人総合競技 中学校の部
N・A(3-1) 優勝
* 第10回ベートン音楽コンクール
中国地区本選
O・M(2-5) 優秀賞
M・H(3-5) 最優秀賞
⇒2名とも全国大会出場決定

《高校》

◇高校新体操部

* 広島県高等学校新体操新人大会
団体: 2位(Aチーム)
3位(Bチーム)

個人: 一部個人総合

O・S(2-E) 5位
二部種目別フープ
I・H(2-C) 2位
W・S(1-E) 3位
二部種目別リボン
N・S(2-A) 2位

◇高校ソフトボール部

* 全国高等学校ソフトボール選抜大会
広島県予選
準々決勝敗退 ベスト8

◇高校放送部

* 第27回広島県高等学校放送文化コンクール
中部地区大会

アナウンス部門

A・C(2-B) 入賞
S・M(2-B)
O・Y(1-C)

朗読部門

S・A(2-E)
S・M(1-E) 入賞

⇒以上5名、県大会出場決定

* 第27回広島県高等学校放送文化コンクール
(県大会)

アナウンス部門

A・C(2-B) 優良賞
⇒中国大会出場決定

◇個人の活躍

* 2016年度国際ユース作文コンテスト
H・M(1-B) 入選
* 第63回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール
H・M(1-B) 日本放送協会会長賞
* 第10回全日本高校模擬国連大会
(決勝大会) 出場
I・R(2-C)
F・S(1-A)
* 世界を動かす、ユースの声。
～読書感想文コンクール2016～
M・M(2-C) 最優秀賞

- *第60回広島県科学賞 特選受賞
S・M(2-D)
研究内容:「タンポポの観察と研究Ⅷ」
～綿毛の形態とその発芽率からわかる
タンポポの種類による増え方の違い～
- *尾道イーハトーヴ猫祭り 2016
フォトコンテスト 尾道の猫部門
A・Y(2-B) 銅賞

《中高》

◇中高マンドリン部

- *第39回広島県中学・高校ギターマンドリン
フェスティバル
優秀賞・朝日新聞社賞受賞

教職員の動向

○11月11日に理科の竹林拓也先生に男児が誕生されました。おめでとうございます。慧人(けいと)くんです。ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。

中学讃美歌コンクール開催のお知らせ

12月16日(金)9時45分～12時20分、ゲーンズホールで、中学讃美歌コンクールが開催されます。この時期、生徒たちの一生懸命練習する歌声が学校中に流れ、クリスマスを迎える女学院の風物詩となっています。

なお、ホールの収容能力に限界があるため、参観は中3保護者の方に限らせていただいております。またお子様連れ、写真・ビデオ撮影、発表中の出入りはご遠慮いただいております。生徒たちのための大切な行事であることをご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(宗教教育委員会)

クリスマス献金のお願い

キリスト教の教会では礼拝の中で神様への感謝のしるしとして献金を捧げます。女学院でも、毎年クリスマス礼拝で、神様から与えられた恵みを感謝し、その恵みを“隣人”

と分かち合うために「クリスマス献金」を捧げ、国内外で、さまざまな支援活動をしている団体や施設に寄付いたします。詳細は別紙プリントにてお知らせし、2学期末に、礼拝委員(中学)、宗教委員(高校)が各HRで呼びかけます。趣旨をご理解の上、ご協力いただければ幸いです。

(宗教教育委員会)



女学院クリスマスのご案内

12月19日(月)18時～19時30分(17時30分開場)、ゲーンズホールにおいて女学院クリスマス(一般公開クリスマス礼拝)を行います。今年は劉ぶん竹牧師(日本バプテスト連盟広島教会)のクリスマスメッセージ、音楽中心のプログラム(高校音楽部・高校吹奏楽部・音楽選択生有志など)、中学YWCA部によるハンドベルなどのプログラムです。

在校生、ご家族、卒業生はもとより、どなたでもご参加いただける礼拝ですので、ご近所、お友だちお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。なお、入場は無料ですが、会場で席上献金のご協力をお願いしています。

また中学生が参加する場合は、必ず保護者同伴かお迎えをお願いします。

(宗教教育委員会)

広島女学院メサイア演奏会のご案内

恒例のメサイア演奏会を、今年も下記のよう
に開催します。救い主イエス・キリストの生涯とその意味を音楽で綴ったヘンデルの大作「メサイア」(曲中のハレルヤが有名)を、是非お嬢様の在学中にお知り合いの方々とご一緒にお聴きください。中高大の生徒・学生に加え、保護者・卒業生・教員も多数協力出演し、練習も回ごとに熱を帯びてきます。チラシ・ポスターご入用の方は事務室にお申し出ください。

日時：12月23日（金）

17時開場、17時30分開演



場所：ゲーンズホール

出演：乗松恵美(卒)、佐々木有紀(卒)、



頃安利秀、折河宏治〔独唱〕

広島女学院メサイア・オーケストラ、

広島メサイア合唱団、

星野晴夫（指揮）

入場料：無料（国内各施設等への献金があります。任意）

※小学生以下のお子様にはゲーンズ幼稚園による託児室が設置されます。

※駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。



（メサイア実行委員）

12月行事予定

1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	水曜授業 1限8:55~ 期末テスト(高3)
6	火	期末テスト(高1・2)
7	水	1限8:55~15分休憩(中1・2・3)
8	木	1限8:55~15分休憩
9	金	1限8:55~15分休憩 高3自宅学習日
10	土	
11	日	
12	月	自宅学習日(中1~高2) 高3テスト返却 1限8:55~
13	火	1限8:55~ テスト返却(中1~高2)
14	水	高3特別時間割 1限8:55~ 高3期末テスト素点確認
15	木	特別時間割 1限8:55~ 期末テスト素点確認(中1~高2) Ⓢ 性教育
16	金	Ⓢ 讚美歌コンクール 1限8:55~ 高3自宅学習日
17	土	1限8:40~ クリスマス礼拝リハーサル 補習
18	日	高3駿台センター試験プレテスト
19	月	終業の日 クリスマス礼拝 女学院クリスマス
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	天皇誕生日 メサイア(17:30~ゲーンズホール)
24	土	
25	日	クリスマス
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	特別休暇
30	金	
31	土	

今月の聖句

マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身になりますように。」

（ルカによる福音書 1章38節）

ビートルズの有名な曲「Let it be」の歌詞に登場する“Mother Mary”は、作者ポール・マッカートニーの母の名前でもあり同時に、イエスの母マリアを意味し、“let it be”は、マリアが天使から神の子を身ごもったと告げられ最後に語った「お言葉通りこの身になりますように (let it be to me, as the words of you)」から取られたものだと言われています。

婚約中の女性が婚約相手とは違う子どもを身ごもることは当時、「石打ちの刑」に処せられる大罪でした。しかし、マリアは自分に起こった受け入れがたい状況を、「あるがまま」に受け入れる決意をしたのです。

～キリスト教強調週間・川越厚先生の
講演「あるがままのいのち」より～

（聖書科 T. M）